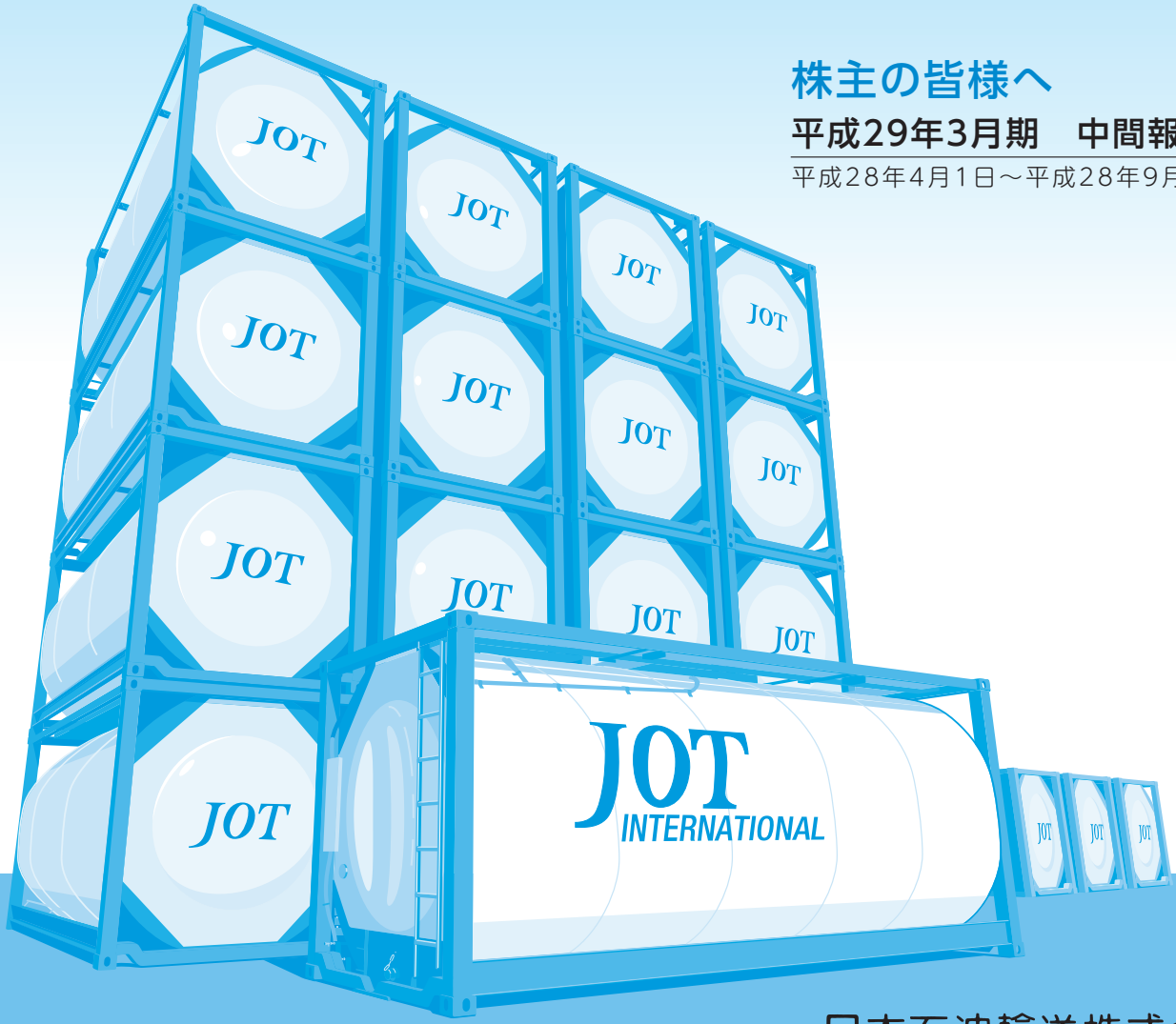
JOT

株主の皆様へ

平成29年3月期　中間報告書

平成28年4月1日～平成28年9月30日



日本石油輸送株式会社

証券コード：9074

Shift for the Next

安全の徹底と質の高いサービスで未来への責任を果たします

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第100期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）中間期の事業概況のご報告をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

今後のわが国経済は、緩やかな回復基調が続くとみられる一方、引き続き世界経済の下振れリスクも懸念されております。

また、国内の石油製品需要が長期的に減少すると見込まれているなか、石油元売り各社の経営統合の動きが、今後当社グループに様々な影響を及ぼすものと思われます。

このような状況のもと、当社グループは、「Shift for the Next　安全の徹底と質の高いサービスで未来への責任を果たします」をキャッチフレーズとして、お客様からの信頼を獲得し、収益基盤の拡大・安定化を目指してまいります。具体的には、ＬＮＧ（液化天然ガス）輸送業務および化成品における海外輸送業務を中心に、積極的な営業活動を展開し、新規輸送の獲得に注力してまいります。また、水素の輸送についても、中長期的な視野に立ち、輸送の拡大を図ってまいります。

こうした取り組みと並行し、安全推進活動の強化や車両・コンテナの点検・整備体制を充実させ、今後も安全の徹底と質の高いサービスの提供に努めてまいります。

中間配当金につきましては、株主の皆様への利益還元の充実を図るため、前中間期より1株当たり1円増配して4円とさせていただきました。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

代表取締役社長　森田公生

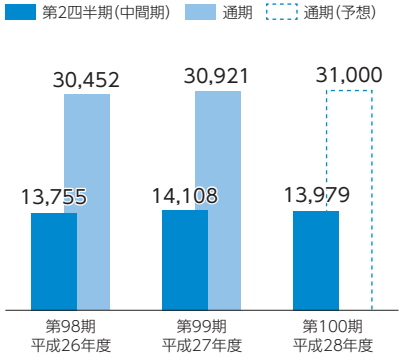
第２四半期（中間期）連結決算の概況

当社グループは、安定的な収益を確保すべく、安全の徹底と質の高いサービスの提供に努めるとともに、将来に向けた収益基盤の拡大を目指し、LNG輸送業務および化成品における海外輸送業務について、積極的な営業活動を展開いたしました。また、新たなエネルギーとして供給インフラの整備が進みつつある水素についても、輸送の拡大を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高は13,979百万円（前年同期比0.9％減）となり、営業利益は216百万円（同4.0％減）、経常利益は387百万円（同5.8％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は244百万円（同15.7％減）となりました。

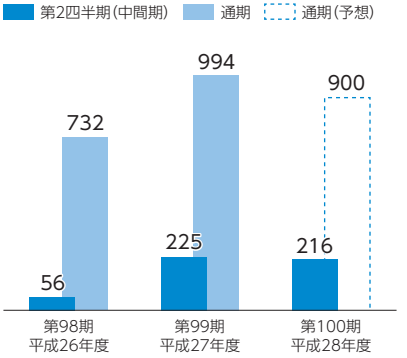
売上高

（単位：百万円）



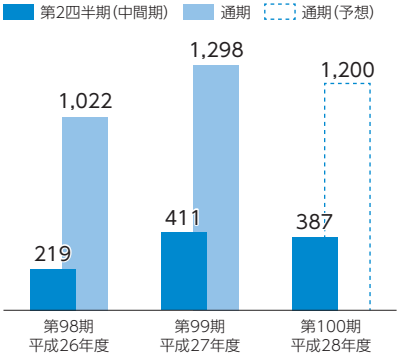
営業利益

（単位：百万円）



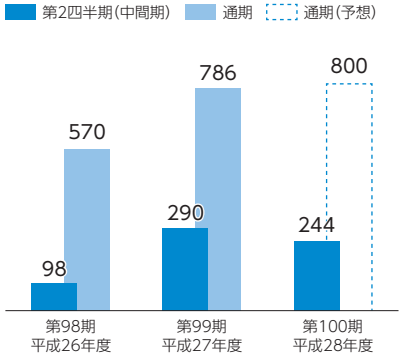
経常利益

（単位：百万円）



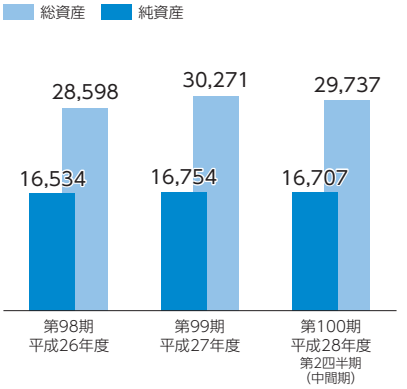
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

（単位：百万円）



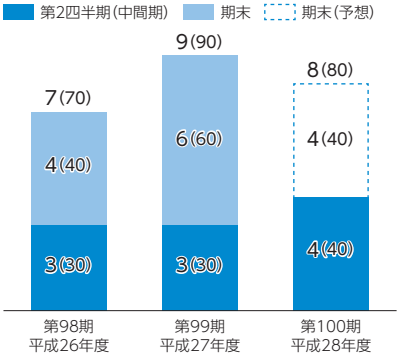
総資産・純資産

（単位：百万円）



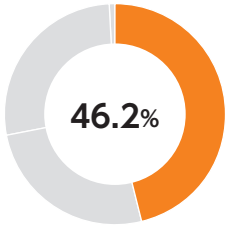
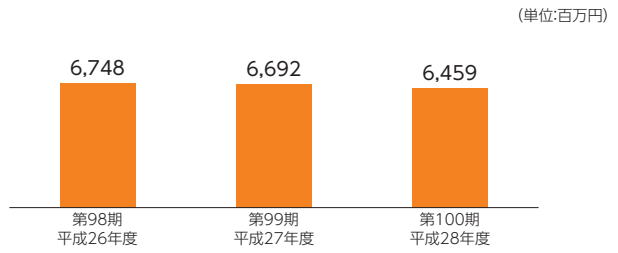
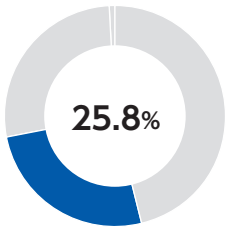
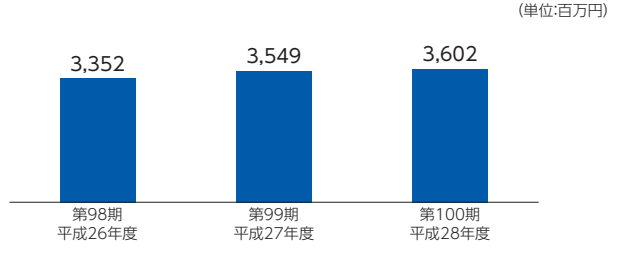
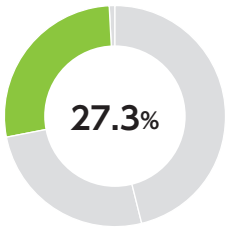
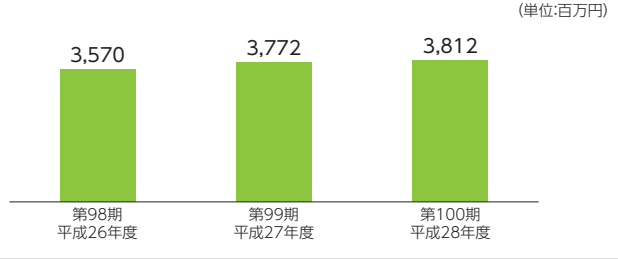
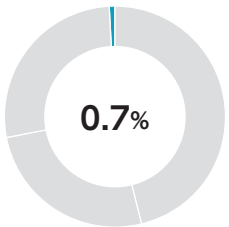
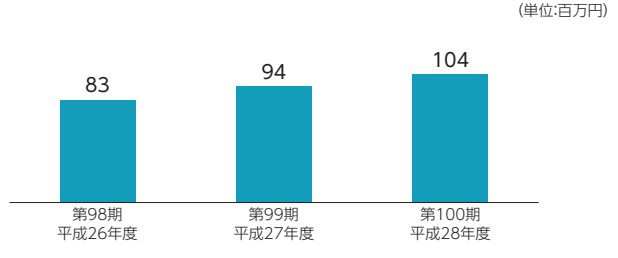
1株当たり配当金

（単位：円）



※第99期期末の１株当たり配当金には、記念配当2円が含まれております。
※当社は、平成28年10月１日をもって、10株を１株とする株式の併合を実施いたしました。配当金の（　）は、当該株式の併合を考慮した金額です。

第２四半期（中間期）セグメント別の概況（連結）

	売上高構成比	売上高の推移
石油輸送事業		
高圧ガス輸送事業		
化成品・コンテナ輸送事業		
その他事業		

事業内容

環境に優しく、低コストで大量輸送が可能な鉄道タンク車輸送と、機動力があり柔軟性に富んだ自動車輸送という2つの異なる輸送モードを持つメリットを活かし、ガソリン、軽油、灯油等の燃料油の輸送を行っています。

タンクローリーによる輸送と、鉄道用タンクコンテナによる複合一貫輸送を行っています。全国各地のLNG（液化天然ガス）輸入基地および国産ガス田から、お客様のサテライト基地、工場等を結んでいます。

化成品輸送事業は、各種化学品、食品等の液体・粉粒体を輸送する各種コンテナのリースおよび様々な輸送モードを組み合わせた複合一貫輸送を展開しています。

コンテナ輸送事業は、農産品や食料品、工業製品の他、宅配便等、お客様のニーズに適した各種鉄道用コンテナをレンタル・リースしています。

太陽光発電事業を展開しており、現在、全国4か所にJOTソーラーステーションを設置しています。

第２四半期（中間期）の概況

売上高 **6,459**百万円　営業利益 **86**百万円

石油輸送事業につきましては、国内石油製品需要の減少や製油所の定期修理等に伴う影響もあり、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は6,459百万円（前年同期比3.5％減）となりました。

売上高 **3,602**百万円　営業利益 **79**百万円

高圧ガス輸送事業につきましては、主力のLNG輸送において、既存輸送の一部が減少したものの新規輸送を獲得したことにより、ほぼ前年並みとなり、また、水素輸送の拡大により、売上高は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は3,602百万円（前年同期比1.5％増）となりました。

売上高 **3,812**百万円　営業利益 **13**百万円

化成品輸送事業につきましては、国内輸送はほぼ前年並みで推移いたしましたが、海外輸送においては、ISOタンクコンテナの運用個数を増やし、販路拡大に努めた結果、売上高は増加いたしました。

コンテナ輸送事業につきましては、北海道地区において台風による貨物列車の運休が多数発生したため、野菜類の出荷が低調となりました。加えて前期末をもって冷凍コンテナによる輸送事業が一部終了したことに伴い、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は3,812百万円（前年同期比1.1％増）となりました。

売上高 **104**百万円　営業利益 **37**百万円

太陽光発電事業につきましては、前年度の発電設備の増設に加え、稼働状況も順調であったことから、売上高は104百万円（前年同期比10.2％増）となりました。

| TOPICS | 安全の徹底と質の高いサービスの提供を目指して

～メンテナンスセンターの設備を改修しました～

JOTグループでは、安全の徹底を図り、お客様に質の高いサービスをご提供するため、過去より、安全推進活動の強化や車両・コンテナの点検・整備体制の維持向上に取り組んでいます。

日本石油輸送の点検整備施設であるメンテナンスセンターは、川崎市に所在し、昭和47年10月に開設以来、主に石油タンク貨車や化成品タンクコンテナの点検、修理およびタンク内部の洗浄を実施しております。本年3月には、洗浄排水処理設備の改修工事が完了し、今後も継続して点検・整備を行える体制を整えました。

JOTグループは、今後も常にお客様に選ばれ続ける企業であるよう、点検・整備体制の維持向上に努め、安全の徹底と質の高いサービスを提供し続けてまいります。

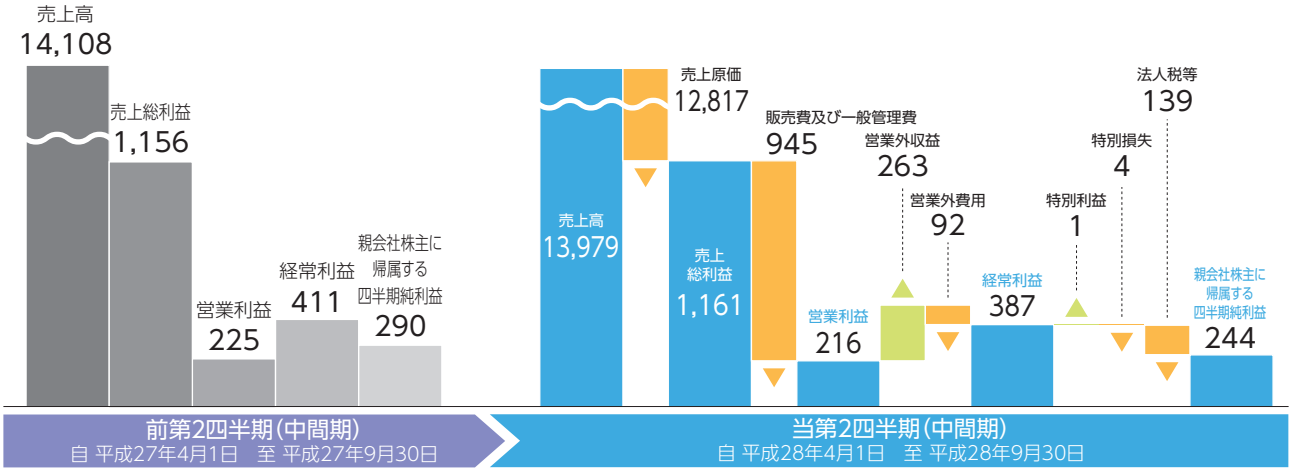
改修した排水処理施設

点検整備中の石油タンク貨車

連結財務諸表

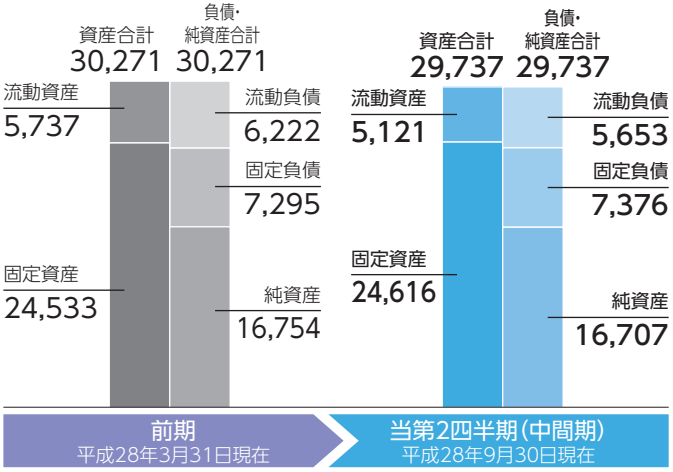
第2四半期(中間期)連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



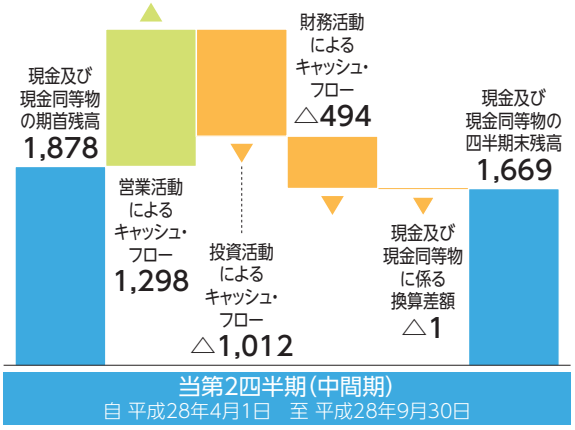
第2四半期(中間期)連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)



第2四半期(中間期)連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)



詳細な財務情報は、当社ホームページ『IR情報』に掲載している決算短信をご利用ください。

http://www.jot.co.jp/ir/

日本石油輸送 IR 検索

株式の状況／JOTグループ／会社概要（平成28年9月30日現在）

株式の状況

発行可能株式総数…… 60,000,000 株
発行済株式の総数…… 33,229,350 株
株主数…… 3,939 名

※当社は、平成28年10月１日をもって、10株を１株とする株式の併合を実施したため、発行可能株式総数は6,000,000株、発行済株式総数は、3,322,935株となっております。

大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
JXホールディングス株式会社	9,644	29.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4）	1,305	3.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	830	2.51
株式会社三井住友銀行	788	2.38
日本車両製造株式会社	669	2.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	595	1.80
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	561	1.69
日本石油輸送グループ従業員持株会	458	1.38
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	438	1.32
三井住友信託銀行株式会社	435	1.31

※持株比率は、自己株式（113,826株）を控除して算出しております。

JOTグループ

- 株式会社エネックス
- 株式会社ニュージェイズ
- 近畿石油輸送株式会社
- 株式会社JKトランス
- 株式会社ニチユ

【株主名簿管理人　三井住友信託銀行】

●電話［フリーダイヤル］0120-782-031（平日９：00～17：00）
●ホームページアドレス http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
●郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

会社概要

商号	日本石油輸送株式会社
設立	昭和21年（1946年）3月27日
本社所在地	〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号 （ゲートシティ大崎　ウエストタワー16階）
資本金	16億61百万円
従業員数	連結1,389名、単体162名
主要な事業所	北海道支店（札幌）・東北支店（仙台）・関東支店（川崎）・中部支店（四日市）・関西支店（大阪）・九州支店（福岡）および新潟事業所
主要な事業内容	1. 石油製品（ガソリン・灯油等）の鉄道タンク車輸送・貨物自動車輸送 2. 高圧ガス（ＬＮＧ等）の鉄道コンテナ輸送・貨物自動車輸送および複合一貫輸送 3. 石油化学製品等の鉄道コンテナ輸送・貨物自動車輸送ならびに国内および国際複合一貫輸送、各種コンテナのリース 4. 鉄道用冷蔵・冷凍コンテナ等のレンタル・リース 5. 太陽光発電事業

役員

取締役

代表取締役会長	栗本　透
代表取締役社長 社長執行役員	森田　公生
取締役 専務執行役員	畑　義昭
取締役 専務執行役員	天野　喜司
取締役執行役員	髙橋　文弥
取締役執行役員	田長丸　雅司
取締役執行役員	岡﨑　基太
取締役	原　昌一郎
取締役	杉森　務
取締役	大橋　康利
社外取締役	坂之上　洋子

監査役

常勤監査役	吉田　秀穂
監査役	戸井田　俊明
社外監査役	赤井　文彌
社外監査役	佐野　裕

取締役を兼務しない執行役員

執行役員	青野　滋
執行役員	竹本　明彦
執行役員	松井　克浩
執行役員	大内　満

日本石油輸送株式会社
TEL:03-5496-7671（代表）
http://www.jot.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080 www.fsc.org
VEGETABLE OIL INK
Waterless Printing. Naturally.
この冊子は、適切に管理された森林から生まれたFSC® 認証紙、植物油インキおよび有害な廃液の出ない水なし印刷で印刷しています。